いわき民報

社長　印刷兼発行人　已克輝千人
編集兼発行人　印
発行所　いわき民報社
福島縣平市田町四八番地　電話三一番
定価　一部十五円　一月一部（但月曜を除く）

商港の實現機運濃化

常磐炭の海上輸送も實現か

東北の海の玄關たる小名濱港の利用は最近素晴しいものがあり、殊に陸上の輸送難から常磐炭田の出炭の海上輸送すら計劃されている始末に、去る八日安本運輸局次長津田技官を始め栗積技官、運輸省港灣課一ノ戸技官一行は縣木土部岩島技官の案内で來町、青島小名濱港築港所長の說明を聽取更に海運によつて原料の入荷の円滑化を企圖する硫安工場として重要視される日本水素工場の將來の方針や計劃を聽取した上、港の實況を視察して歸京したが、視察後の關係者との會談結果によると、一行の意見はあくまで肥料の增產を期する建前から築港に意を注ぎ、陸上設備もこれと併せて積極的に工を進め、陸上設備は約八ケ月を費してガンドリークレーンとなしこれが設置出來るまで暫定處置として目下の荷役設備を倍加し一千トン級の船舶でも最低限度二日半內外で荷役をすませるところまでに進めしめ、常磐炭も月一萬五千トンを海上輸送させる計劃とあり、縣案の一大商港として小名濱の再現もいよ〳〵迫つたものと大きな期待をかけられている

乘車切符も制限實施

二十七日から局內外とも二割減

平驛では石炭事情の窮迫と年末の重要物資輸送の萬全を期するために、水戸管理部からの指令に基いて二十七日から東鐵局內はもちろん局外でも乘車切符の發賣を制限をし、現在の二割減とすることになつたので、先づ十一日下旬の賞與とにらみ合せて各驛への切符發賣をその都度制限することに決つた、年の瀨も詰り書入れの忙殺期のこの制限は相當手痛いものとされている

常磐製作所

榮譽の表彰

全國十七工場中縣としては唯一

商工省では本年一月來炭鑛用機械生產に優秀な成績をあげた全國十七工場を二十四日表彰し、彼我彰工場には自轉車三台從業員には酒、タバコ、軍手、サツカリンなど特配することゝなつたが本縣からは常磐炭鑛常磐製作所がただ一つ表彰された

鑛常連の

組織擴大

新に三鑛も加盟

吉成、磐前及び茨城の山峰の三炭鑛勞組はこの程そろつて日鑛常連に加盟した、これにより日鑛傘下の組合は三十四鑛七千七百四十六名となつた人數の點では常磐炭鑛の爲す

行一等官技田津

畫計る依に祭祝

重ね全國を制壓している常磐炭田各鑛は年末もあるものか一塊でも多く掘り出せと大童で年內はいづれも三十一日の大晦日を休むのみで三十日深夜まで地底に敢闘することに決つた

農協組設立

推進協議會

組合推進協議會委員會は二十六日午前十時から市ない田町平營業所階上で開き推進方法等を協議

市の公安委員決る

豫想通り猪狩山崎矢吹三氏に

平市では本年最後の臨時市會を二十六日午後一時から招集、公安委員の選任報告をみたが、この結果豫測どおり市の公安委員は左の三氏と決つた

◎猪狩昌平（六五）洋品店つるや店主、四丁目◎山崎與三郎（六四）醬油味噌醸造業、古銀冶町◎矢吹大一郎（三六）醫師、鎭田町

員委安公內鄕四倉も

決定さる

郡下のトツプ切り

自治警察制度の確立とともに目下郡下各町村でも公安委員の選任を愼重に急いでいるが二十六日地方事務所に報告となつたのは內鄕町をトツプに四倉の二ケ町であつた

◆內鄕町
◇鈴木甚吾（五〇）常磐炭鑛內鄕納保安課長、秋田鑛山學門校卒
◇高萩佳次郎（六三）醫師、東北帝大醫學部卒業、級
◇吉田安晴（五六）農業、高小卒、小久山
◆四倉町
◇本田文平（四四）精麥工場主、高小卒、新町
◇長谷川喜平（五一）萬年瓦製務取締役、高小卒、仲町
◇門馬貞次郎（六〇）醫師、東北帝大卒、本町

全炭支部

結成大會

全石炭福島支部の結成大會は二十五日午前十時から矢鄕鑛で常磐地區產別系七炭鑛代表が參加して擧行された

小名濱町會

十萬圓の大當り綴へ

小名濱町では二十六日午前九時より臨時町會を開き會安委員選任、高女校第三中工專施行、第三小學校建築促進、港灣利用等を附議

幸運つかんだ宮川福松さん

寶くじ百萬円の大當りの幸運が、引續いて運動中なので、その成績は非常に期待されている

初春興行

新春一月上映の

獨占名畫陣

大河內傳次郎
入江たか子

幸福への招待

エノケンの

ちやっきり金太

高峰秀子の

愛よ！星と共に

福島縣での封切

ソレン・フイルム・スタヂオ日ソ映畫提供の

モスクワの音樂娘

山田五十鈴　土方與志

女優

御期待を乞ふ

新春に贈る第二イワキの

東寶の傑作篇

內鄕第二イワキ

電級十二番

トウトランプ

球特殊電球・特山鑛・用明照般一

元給配定指定販賣

東京電氣商品株式會社

平出張所

平市田町16・TFL54

お正月用の

お酒配給

28、9兩日限り

一合ずつ、期日は二十八、九の兩日限りですからお忘れないように

內鄕共同募金

割當突破

寺院協會も協力

內鄕町の寺院協會では宮下秀嵩氏を先頭に經驗前その他映畫館前等で街頭共同募金を三日間行い更らに隣生常任委員長といもに二十四日は大口寄附募集に大童の奮闘をした、このため全町の募金は既に二十萬六千円の割當を突破した、宮川さん一人で一萬六千円

給り

お正月用のお酒が市民に配給に成ります

童はわづかで成年男女に各

いわき寸言

◆年の瀨とともに兇惡犯罪增加一いづれを向いても金が仇

◆金が仇の世、それも年末に二十万円大當り、今年の幸運を

開店　市ぜり　日近

古着洋服、布團並綿、自轉車
ラヂオ、家具、什器、盛表、
皮類、電氣具、瀨戸物、金銀
時計、書籍、骨董
平驛前

伊東事務所內

委託販賣共同商會

孤兒物語

新しき出發

堤信

六年生の半ば頃上級學校の受驗勉強が開始された。田舎の學校では中等學校に入學するものはおよそ良家の子女が多かつた。そして受驗勉強で居殘る生徒は他生徒に比較して優越感を持つていた。白線帽子にあこがれて太陽が沒する迄勉強したものである。私の志望校は大館中學であつた。此の土地の人は大低大館中學を選擇するのが、常識であつて例外に能代中學秋田中學があるが、それは極くまれなことであつた。女學校も大体同樣である。祖父は私の願を簡單に許るしてくれた。がいよ〳〵志願票の提出となると長兄と相談して見なければならないと返事した。私は憤慨した。しかし當時は祖父も極度に老衰して家政一切を家督相續人である長兄にその實權が把ぎられて頭が上らなかつた種々の事情からおして悲觀する必要もなかつた。だが祖父と長兄の關係は此の問題を契機として一層對立の度を加へていつたのである。私は良家の子息だ。私の家は資産家だ家の名譽にかけても學校に入る資格があるはずだ。早急に解決するに間違いないと固く信じていた。或る日祖父は私を呼んで受驗の不可能なことを話した。その反對の裏面に長兄の妻の破壞工作が大きな動きをしていることを後日に知ることが出來た。長兄は慈善行爲などには無關心で專ら自己財産の蓄積に狂奔して町内の評判が良くなかつたのに引換へ祖父は正反對であつた。それで祖父は町長を拾貳年も務めることが出來た。長兄は慾の深い人で人の爲に金錢の支出を神經質的に監視するので家庭内の反感も大いに買つていた。以上のことで大体のことは推察出來た。しかし納得の行く筋合いのものではない。又長兄はお前達は父母のない身で養育されているだけで滿足しなければならない。學校へ行くなどもつての外だ。うらむなら母を恨めと云はれた。此に至つて私達は反省の貴重な宣告を下されたのである。

私は過去と現實のきびしい人間生活の正しい方向を見誤つたのである。冷酷なる過去と裕福なる實現の二つの問題に對する認識の缺如と調和せる人生觀の薄弱これである。私は過去の歴史が、今日の生活に直結していることを忘却したのである。持たざる生活から持てる生活へ高踏的に飛躍したのが人間を變化せしめたのである。現實があまり惠まれた爲に精神生活を無意識の中に否定し金持主義の生活形體こそ至高性の幸福であると認定したのである。私は予盾の社念を恨み僞善の人間を憎惡し虚無の世界を嘆いた。金が人間生活のすべてを律すると規定した惡夢の横暴の私を悲しむ。私達の最高のものは物にあらず金にあらず實に愛の心であらねばならないことを悟つたのである。若し私に冷靜な判斷力と謙恭な生活意識が存在したならば問題の打擊もさほど強く感じなかつたであろう。私は幻影を無秩序的に追うていたのだ。現在の生活を嫌棄し苦學することを私は決心した。祖父は苦學の容易ならざることを敎へてくれたが、そんなことでくじけることはなかつた。祖父は札幌へ行くことをすゝめた。そこには町長時代に戸籍係をしていた片岡某と云う人が鐵道病院の料理人をしていたのである。晴の卒業式には遠く級友と別れねばならない暗い影と苦學と成功を夢見る明るい影が、消えては浮び浮かんでは消へる心をおさへつゝ出席した。數日後にはもうこの懷かしい故里ともさよならしなければならないであろうと思いながら、仰げば尊しを涙で合唱した時限りなき悲哀にひとみはぬれていた。幸いに九番で卒業することが出來た。それから一週間も經ずして春と云うものゝ雪深い故郷と離別して未知の都札幌へ旅立つたのである。頂度長兄の出張を見計い逃亡するように家を去つた。長兄に對する反抗心は一生貴殿の御世話になりませんと、その書信に書くだけの勇氣を持つていた。弟妹は驛迄見送つてくれた。そしてあの年老いたる女中も再びこの土地を踏むことが出來るであろうかと弱い心の片影を銀嶺の山河にとどめて冷めたい鐵路に私を乘せた列車は一路北へ〳〵と直進して行く

氣候的に不利な郡下

年内完遂のみの報奬に抗議

年内に供米完遂の農家に對しては政府が砂糖その他の報奬物資を特配するが、郡下は氣候その他の關係から植付がおそく、自然收穫期もおそいので年内完遂は少く大部分が一月に入らねば完遂出來ぬ事情にあるので、この點を考慮して貰はぬと郡下の農家は非常に不加益であるばかりか、ひいては供米意欲をも阻害するに至るからと、特別の考慮方を陳情のため酒井町村長曾長と草野小川村長が郡下各町村代表として二十六日出縣した

學徒街頭募金

二十四日の街頭募金は女商二千七百六十六円九十六錢、平女四千八十四円二十五錢の合計六千八百五十一円二十一錢

湯本鑛社宅に覆面強盜

事情を知る者か

去る二十四日夜一時頃常磐炭鑛湯本鑛淺貝區社宅寮七ノ四職員芳賀幸雄さん（一九）方へ表玄關口側のガラス窓より白覆面をした年齢二十二、三才黑防色上下、地下足袋をはいた五尺二寸位の怪漢が侵入兄嫁の芳子さん（二三）の枕元に突立ち左手では渡り六寸位の短刀を突きつけ騒ぐと皆殺しにする、金を出せと脅し芳子さんがだまつて前日幸雄さんがもらつて來た千五円在中の給料袋を渡すと悠々中身をしらべた揚句、俺が歸るまで聲をたてるなと凄味をきかせて立去つた、同夜は折惡しく幸雄さんは三番方のため留守で芳子さんと妹幸子さん（一六）の二人と知つての犯行でありない部に明るい者ではないかと見られている

山田村の老婆殺し

物盜りの所爲とにらまる

山田村小林字大津小宅フクさん（六七）が二十五日朝七時ごろ自宅入營間で就寢中を殺害されているのを隣家の下山田トメさん（三七）が發けん屆出た、平檢察廳から國分檢事安藤豫審判事が安齋醫師を從へて出張、縣刑事課から草刈次席等が、植田署からは本田署長等が急檢視したがフクさんは右頸部を鋭利なもので二センチほど斬られ又右額部に同じく二センチ程の穴があけられていて他殺と決つたが全女は二十一才の時夫に死別以來獨身で過し、男勝りの世話好きの婆さんと評判が良く他から怨みを買つたこともないので物盜りの仕業とみられている

戰歿者葬儀料決定

小名濱町厚生委員會では戰歿者の葬儀、導師料を五百円以内に又側僧は百円以内に均一に決めた

◇新館増築完成◇
新（舊）忘年會・新年會
商談……等には是非御利用願ひます
（團体申込も應じます）
喫茶貸席　マツバ
店主　坂林慶郎
小名濱町濱町電三四四

眼鏡專門
各眼科醫指定
玉屋
平市二丁目ET910L

タイヤ泥の四人組御用
湯本町上川無職水野二郎（三二）外三名は共謀して去月二十一日同町三函鑛山業論手學さん（四一）方の物置を破りタイヤー九十組、チューブ七十組の現價十萬円相當を盜んだほか二十二日夜磐崎村下湯

帽章。バツチ。メタル
御注文はメイ化粧店へ
アキバ徽章商會
東北代理店メイ化粧品店
平市田町六八

祭化文際國
日本朝鮮中國の三國の舞踊まつり
輕音樂と歌に……
期日　十二月三十日ビル一時ヨル六時二回
會場　平市公會堂日本間
入場料　前賣三五円、木戸賣四〇円、中學生三〇円、子供二五円
フラクラ社　人化文主民際國主催

いづみやの初賣
正月二日　三日　二日間
全商品一割引大賣出し
新春の御買物は
先づ　いづみや
平驛前の　いづみや
電三八四番

平の松本下駄屋
貴店のそなえに
少量でも御仕入願います
種駄　各下駄　下桐津會
駄下張櫻製特
平市禰宣町五
松本藤太郎
電話一五五番

骨董　貴金屬　高價
寶石　和洋服　買入れ
◇和洋服特に若向高價御報參上
平市南町平舘西隣
中央會館
（電話九一五）